

子育て中の方と現場で意見交換

「みえ現場de県議会」

県議会では、多様な県民の意見を県議会での議論に反映させるため、「みえ現場de県議会」を毎年度開催しています。

今年度の1回目は、10月27日に、松阪市にある県立みえこどもの城で「子ども子育て支援」をテーマに開催しました。

当日は、県議会議員14人と、小学校低学年までの子どもを持つ子育て中の方7人、子ども子育て支援に関わるNPOなどの方5人が参加し、子育て家庭が置かれている現状や課題などについて、意見交換が行われました。また、傍聴に訪れた県民の方も、熱心に耳を傾けていました。

参加者からは、次のような意見がありました。

0歳～保育所・幼稚園に入るまでの時期

夫が育児休暇を取り、子育てに参加して、イクメンパワーがすごく増した。

・保育園・幼稚園に入るまでのサポートがぶつ切れなので、県がサポートしてほしい。

保育所及び幼稚園の時期

娘の通っている幼稚園が15人未満のため閉園されると聞き、困っている。

・保育の施設や仕組みが充実したり、気軽に利用したりできれば保育に関する不安がなくなり、育児がしやすくなる。

小学校低学年の時期

・田舎は近所と距離があり、遊びに行くにも送迎が必要。

・学童保育は保護者会が運営しているが、子どもの卒業に伴って保護者が入れ替わり、非常に不安定。また、親や指導員にものすごい負担がかかること。

など、幅広い意見が出されました。

なお、いただきましたご意見は、今後、議会での議論に反映させていきます。



まちづくりについて、活発な意見交換

「第2回政策セミナー」

県議会では、現場感覚で政策議論を充実させるために、地域が抱える課題をテーマに、全議員を対象にした「政策セミナー」を開催しています。

11月6日には、尾鷲市で幅広くまちづくりに取り組んでおられるNPO法人「天満浦百人会」の松井まつみ副理事長に、「ふりかえれば30年～天満浦百人会のまちづくり」と題し、行政の補助金に頼らず、楽しく地域づくりを続けてこられた経験をお話しいただきました。

講演は、活動の大きな転機となつた「夢古道おわせ」レストランへの参加など具体的な事例を交えて行われ、天満浦の情景を歌つた松井さんの尾鷲節をもつて終了となりました。

講演後の質疑応答では、これからの中づくりの課題が問われ、松井さんは「尾鷲にとどまらず、熊野とのつながりなど、地域をひつくるめる仕組みがあつたらいい」と話されました。

会議の開催状況（会議の模様は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。）

11月

- 1日 予算決算常任委員会各分科会
- 決算認定議案の審査
- 6日 予算決算常任委員会
- 決算認定議案の審査、所管事項の調査
- 8日 選挙区調査特別委員会
- 三重県議会議員の選挙区及び定数について
- 戦略企画雇用経済常任委員会
- 参考人からの意見聴取
- 13日 戦略企画雇用経済常任委員会
- 所管事項の調査
- 22日 本会議
- 決算認定議案13件認定、議案53件

12月

- 2日 本会議
- 一般質問(4人)
- 選挙区調査特別委員会
- 三重県議会議員の選挙区及び定数について
- 4日 本会議
- 一般質問(4人)
- 5日、6日 予算決算常任委員会
- 平成26年度当初予算要求状況の調査
- 9日～12日 各常任委員会・分科会
- 議案等の審査、所管事項の調査
- 16日 選挙区調査特別委員会
- 三重県議会議員の選挙区及び定数について
- 新エネルギー等活用調査特別委員会
- 24日、25日 選挙区調査特別委員会
- 三重県議会議員の選挙区及び定数について

18日

- 予算決算常任委員会
- 議案の審査、所管事項の調査
- 「実はそれ、ぜんぶ三重なんです!連携調査特別委員会
- 今後の委員会の進め方について
- 選挙区調査特別委員会
- 三重県議会議員の選挙区及び定数について
- 20日 本会議
- 議案52件可決、請願4件採択、意見書4件上程・可決、人事同意議案1件上程・同意
- 戦略企画雇用経済常任委員会
- 所管事項の調査
- 選挙区調査特別委員会
- 三重県議会議員の選挙区及び定数について
- 24日、25日 選挙区調査特別委員会
- 三重県議会議員の選挙区及び定数について

*この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、広聴広報会議、委員長会議、三重県食の安全・安心の確保に関する条例検証検討会など、さまざまな会議を開催しています。